

伊勢湾

10月26、27日の調査結果を図1に示しました。伊勢湾西側（津市沖）で貧酸素水塊が確認されました。前回調査時（10月20日：図2）と比べると、湾中央部の貧酸素水塊が解消していました。図1の鉛直分布図では、溶存酸素飽和度が低い水塊が中層（10～20m付近）に確認されたことから、塩分の高い外海水が底層に侵入していたと考えられます。

今後は気温の低下に伴い、徐々に表層水温が低下し、鉛直混合が進むことで貧酸素水塊は解消していくと予想されます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	20.4～22.8	28.8～31.8
底層	22.3～24.2	31.9～33.3

参考

前回調査時の両湾底層の溶存酸素状況

溶存酸素飽和度(%)

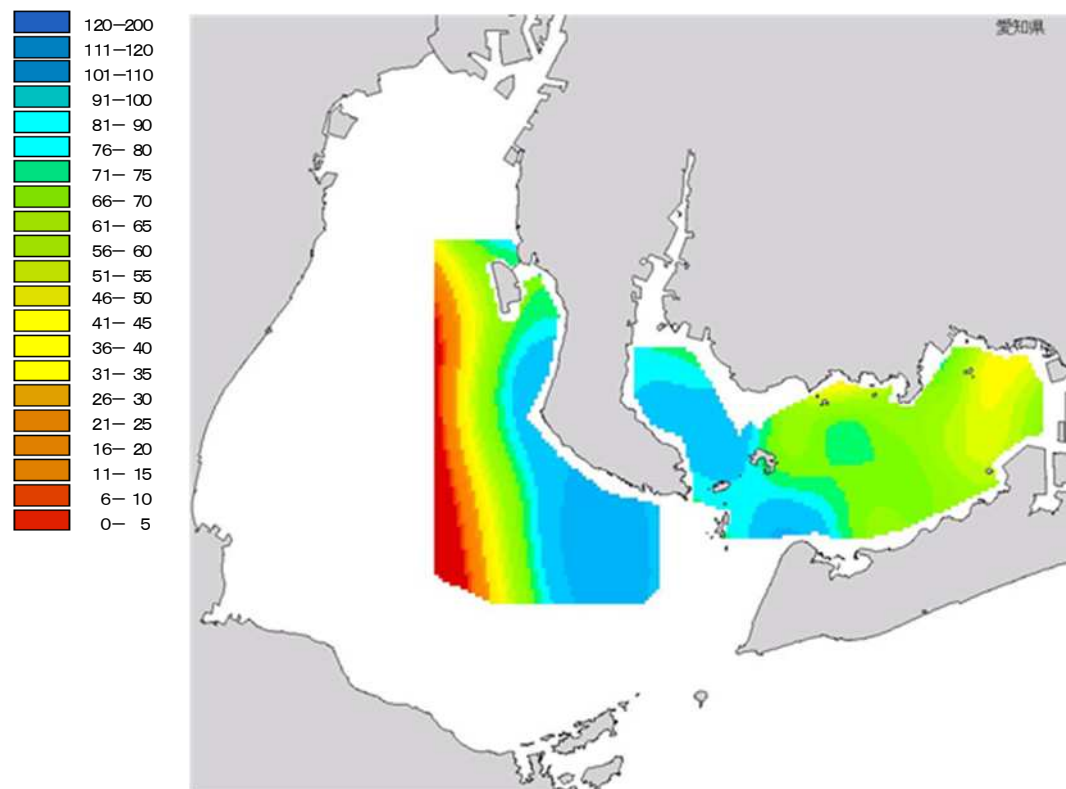


図2 令和4年10月20日（伊勢湾）、10月18、19日（三河湾）